

1月5日新春観望会

1月5日。丹沢星の会の新春観望会に参加してきました。

今回の観望場所は先月のふたご座流星群の時に訪れた滝知山 P。丹星としては初めての場所で、これまで冬の観望地として利用していた富士山二合目のとある広場が入場出来なくなったため、幾つかの代替候補地を物色した結果、ふたご群の時の印象が予想以上に良かった事を受けての訪問でした。

現地に向かう途中の箱根大観山展望台から撮影した富士山と芦ノ湖。
箱根では人気の撮影スポットだけに、それなりに絵になる構図です。



Photo by クマ

仲間のヒデアキさんと共に日没前に現地入りして暗くなるまで待機していましたが、一般車が全ていなくなったことを確認して機材のセットを開始。今日の機材はヒデアキさんが FS128、クマはいつものドブ。※二人とも所有の機材が似たような構成のため、現地でダブらないように予め申し合わせをしています。

今回は珍しくカメラまで持参のクマ。やはり自前で17Pを撮っておこうと思ったりして。組み立てをしている間にも続々と仲間が到着し、最終的には同伴の家族も合わせて16名も方が集まりました。

ドブの光軸調整にかなり手間取り、結局追い込みを完了しないまま観望を開始。

まだ薄明が終わらないうちから、最初に衝を過ぎた火星を見てみた。

鏡が冷えきっていないので像は推して知るべしながらも、火星で最も見映えの良い大シユルティス付近がこちらを向いている事は容易に判るのだが、ヒデアキさんの FS を拝借して見ると、残念ながらシンチレーションがイマイチで拡大率を上げる気になれない。

・17P/Holmes

NikonD70S Nikkor135mm/F3.5 開放

22 時 30 分～露出 3 分

ヒデアキさんの EM200 で自動ガイド



Photo by クマ

薄明も終わったので、火星は取りあえず後回しにして 17P/Holmes を肉眼で探してみたところ、前回のよう直ぐに見つけることが出来ず。

双眼鏡だと β Per アルゴルから 2° ほどまで接近した位置に淡い光芒を見つけられた。拡散して判りづらいけどまだ 5 等台はキープしているようです。アウトバーストの頃から比べるとかなり淡くなったとは言え、未だにここまで見えているのは凄い事です。

もはや完全に歴史に残る彗星になりましたね。

今回もうひとつの接近彗星となった 8P/Tuttle を見逃してしまう。こちらは 17P とは対照的に移動が早く今回が見納めだったかも知れない、と考えると惜しい事をしました。

・オリオン三ツ星付近

23 時 30 分～3 分

他は 17P データと同様

いやー、今更ですが驚きました。わずか 3 分の露出で燃える木(NGC2024)や M78 も写り、この画像ではほとんど見えませんが元画像には馬頭星雲もしっかりと写っています。一眼デジカメの威力や恐るべし！写真屋に戻る気は全くないけど、これからも季節毎に一回くらいは撮ってみようか。

今回はレンズの青ハロをカットするために Kenko の L41 を装填しています。100%とはいかないまでも多少は効果が表れていますね。



Photo by クマ

オリオン大星雲 M42 を 80 倍～200 倍までの間で色々視点を変えて見たところ、それぞれに見所があってなかなか興味深い眺めが楽しめる。

80 倍だと M43 とトラペジウム、小三ツ星などの主要部分が収まって見映えも良く、トラペは **E 星** までは余裕で見えている。140 倍ではトラペジウムと小三ツ星の間にある色の濃い部分がよく判る。透明度が良いと茶色がかかった色まで識別出来るのだが、今日は色までは見えず。ボヤボヤながらも **F 星** も何とか見えていた。

ビノビューとバローの組み合わせて 200 倍で見ると、トラペジウムと重なる星雲が **パール状に立体的に見えてきて大変興味深い**。大口径だと双眼視による光量の損失もそれほど感じられず、明るい星雲なら見応えも十分です。

・丹星うらしまさんよりいただいた観望風景。

冬の大三角がよく目立ちます。

真ん中ではちょうどクマがオリオン座付近を見ているところですね。

まだ比較的早い時間帯なので、熱海や伊東の灯りが煌々と輝いているのが判ります。



Photo by うらしま

夜が更けるにつれて次第に風が強くなってきました。この場所で考えられる阻害要因のひとつがこの風。立地的に伊豆半島の尾根に位置するため、西の駿河湾から伊豆半島を越えて相模湾に流れ込む風の通り道になる事が多く、気圧次第では強風が吹き荒れる事になります。

更に風量が増してきたので車を風除けにして凌ぎながら観望していたが、あろう事か強風に煽られドブがお辞儀をしてしまう。先日の躍動部のメンテナンスの効果が効き過ぎたようで、試しに正立ファインダーを外すと元に戻ろうとする事が判り、どうやらこれまでトップリング側とミラーBOX 側のバランスが取れておらず、フリクションの劣化で気付かなかったのだろう。

早速ミラーボックス側にカウンターを追加できるように対処しなくては。

空の方もシーイングが回復気味だったので暖を取りながら粘りましたが、強風が収まる様子は全くなく体感温度もマイナスになって来たためギブアップ。各々機材を片付け始め、27 時半には全員揃って撤収となりました。冬の観望地はこれまでもいろいろとロケハンを重ねてきましたが、トイレ事情を考えるとなかなかこれといった場所が見つからないですね。

他にも幾つか候補地を見つけてあるので、これからも順次足を運んでみるつもりです。